

Luneur

特許出願中

ゲルマニウム眼鏡 フレームの誕生です

ゲルマニウム について

ゲルマニウムには有機ゲルマニウムと 無機ゲルマニウムの2種類があります

有機ゲルマニウムは漢方薬の原料となる植物に多く含まれており、無機ゲルマニウムは銀などの鉱物より取出された半導体で主にIC機器や医療器具として使われています。

無機ゲルマニウムが体に与える効果とは

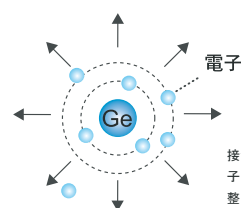
人間には生体電流という、ごく微弱な電流が流れています。生体電流のバランスが崩れると、人体に様々な症状が現れます。痛みやこりなどがある部分には体の外から電気的な刺激を与え、生体電流の乱れを整える必要があります。ゲルマニウムには、生体電流を整える力があり皮膚につけることでそこに電流が発生し、生体電流を整え様々な症状を取り除いてくれます。さらに、ゲルマニウムから発生する遠赤外線効果により、電磁波を緩和する効果や温熱効果が期待出来ます。*効果には個人差があります

ゲルマニウム眼鏡フレームとは

純度の高いゲルマニウムやアクセサリなどに用いられる銀+ゲルマニウムを融合した合金は、眼鏡特有の強度に乏しく、錆などの不具合が生じるため、眼鏡フレームを製造する事は困難でした。しかし、「ゲルマニウム含有新合金」*開発の成功により、ゲルマニウム合金を使用した眼鏡フレーム「Luneur(リュネール)」が誕生しました。

ゲルマニウムを特殊な加工でコーティングしたグラスコードは*、ゲルマニウムネックレスとしての用途も合わせ持っております。*特許出願中

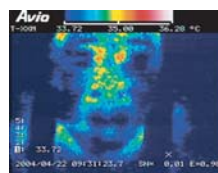
ゲルマニウムの仕組み



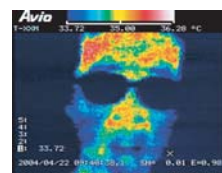
原子記号	32
元素記号	Ge
電子配置	[Ar]3d10s2p2
原子量	72.59
融点	937度

接触面の温度が32度以上になるとマイナス電子が外に飛び出し、細胞内の電流バランスを整えます

サーモグラフィテスト



▲ゲルマニウム眼鏡・装着前



▲ゲルマニウム眼鏡・装着10分後
鼻・おでこなど、眼鏡の接触部分を中心に若干ではあるが、温度上昇が見られます。



▲モダン部